

令和5年度 四国地方公共工事品質確保推進協議会

四国地方公共工事品質確保推進協議会(会長:四国地方整備局長)は、令和5年度協議会を開催し、公共工事の品質確保と地域建設業の働き方改革の推進及び担い手の中長期的な確保・育成、発注事務に関する情報共有、施工時期の平準化、週休2日の取り組みなどについて、意見交換を実施。

○開催日：令和6年1月31日(水)13:15~14:00

○場所：高松サンプォート合同庁舎 & Web会議併用

◆令和6年度の品質協の活動方針について

【協議会の確認】

全国統一指標に関する活動

1 週休2日対象工事の設定【工事】

- ・週休2日の対象工事を拡大(国、県、市町村等)し、週休2日の取り組みを推進する。
- ・国・県・市町村等全機関連携し『全工事週休2日!』を目標に週休2日を推進する。

(目標R6d4週8休)

2 施工時期の平準化【工事】

- ・施工時期平準化のための、全機関において平準化率0.9以上を目指す
- ・国・県・市町村等を含めた四国地域ブロック及び各県単位での平準化率を公表
- ・小規模工事(500万円未満)を含めて、施工時期の平準化に努める
- ・平準化推進のために「さ・し・す・せ・そ」の活用の継続実施に努める

地域独自指標に関する項目

1 適正な設計変更について(設計変更ガイドラインの策定)【工事】

- ・市町村においても設計変更ガイドラインを策定し、適正な設計変更に取り組む取り組みを継続。

2 ICTを活用した工事、業務を普及させるための取り組み【工事、業務】

- ・全機関が、ICTを活用した取り組みを始めることにより、ICTの拡大を図る。
- ・また、研修会等の取り組みを継続しICTの浸透を図る。

R6dは市町村工事の受発注者の講習会等を

四国ICT活用促進部会が各県で実施している講習会等と統合

発注者(建設業)共通の課題への対応

1 魅力ある業界をPRする取り組み【広報・情報発信】

- ・週休2日やICT・最新技術の活用など、新しい建設業(現場)の魅力を各発注者から発信する。

■「週休2日」に関する発言

【参加者の発言】

土佐市

『担い手不足の課題解決へ向け、週休2日対象工事の実施』

昨今の建設業界が抱える問題として担い手不足が大きな課題である。特に若年層の減少が今後の工事発注にも影響を及ぼしかねない。その他、技術継承ができない等大きな影響が生じる。

担い手確保のためには若者に選ばれる魅力ある職場にすることが大切である。土佐市では「週休2日モデル工事」を実施予定であり、小規模の業者でも無理なく行える仕組みづくりをすべきと考えている。

週休2日の実施にあたっては多くの自治体が協力して取り組むことで大きな成果が得られるのではないかと考える。各自治体において導入に向けて積極的に検討していただき、建設業界の労働環境改善と担い手不足の課題解決に向け皆様と一緒に取り組んでいきたい。

小豆島町

『担い手確保に向けて指定工事で週休2日実施』

週休2日は、建設業界全体で働きやすい環境を構築することや担い手確保を図るために大変重要な取り組みである。来年度から工事を指定し、できる工事から取り組みたい。



合同庁舎会場
(委員46名をはじめ)
& Web会議参加
109組織 約220名参加



協議会会長 挨拶



発注者で協力して、適正な工期設定と若手確保を
にらんだ週休2日を進めていきたい。

参加者からの発言



土佐市長



小豆島町長

各組織での週休2日への取り組みを報告